

【「選ばれる京築の米づくり」の目標】

- ①種子更新100%
②生育に応じた適正な水管理
③病害虫防除徹底
※イネカメムシの被害により品質、収量低下が拡大しています。防除を徹底しましょう。
④乾燥調製後の適正玄米水分14~15%の確保

【土づくり】

- ①麦わら、稲わらは焼却せず、全量鋤込み
②地力向上
牛ふん堆肥(2t/10a)
③土壌改良材を施用
ミネラルG(160kg/10a)またはシリカサポート1号(40~60kg/10a)
④作土深15cm以上を確保
1~3年を目標に段階的に深く

【各品種の平坦地における生育の目安及び特性】

Table with 7 columns: 品種, 田植時期, 出穂期, 成熟期, 倒伏, いもち, 穂発芽. Rows include 夢つくし, 元気つくし, ヒノヒカリ, ヒヨクモチ.

この栽培層はJA米の生産基準を兼ねています。生産履歴を必ず記載し出荷時に提出しましょう。

農薬散布時には使用基準を遵守し、周辺作物への飛散にも注意しましょう!!

Main cultivation management chart showing water management, planting, and pest control for '夢つくし' and '元気つくし・ヒノヒカリ' varieties across months 6-10.

箱施薬の使用基準

箱施薬の効果を最大限に活かす為に、1箱当たり50gをムラなく確実に散布しましょう。(少ないと効果が薄れる)

Table with 4 columns: 薬剤名, 対象病害虫, 施用時期, 施用量. Lists フルスロトル箱粒剤 and 防人箱粒剤.

LINEのお友達登録で 栽培管理情報が届きます。

施肥基準 (10a当たり)

Table with 4 columns: 項目, 基肥(側条施肥), 穂肥, 一発施肥(側条施肥). Lists fertilizer amounts for 夢つくし, 元気つくし, ヒノヒカリ, ヒヨクモチ.

注)①全層施肥は5kg増量。ただしヒヨクモチ全層施肥は10kg増量。②地力の低い田では1割程度増肥。③大豆跡では、基肥を50%減肥し、一発肥料は使わないようにしましょう。④レンゲ跡では、レンゲの生育に応じて基肥を減肥し、一発肥料は使わないようにしましょう。

初期除草剤使用基準 (10a当たり)

注)同一除草剤の連年使用は抵抗性雑草の発生原因となるので定期的に薬剤を切替しましょう。

Table with 3 columns: 剤, フロアブル剤, 投込み剤. Lists specific herbicide products and their application methods.

除草剤使用上の注意点

- ①極端な浅植え及び植付不良で根が田面に露出している水田では薬害が出やすいので、注意しましょう。
②田面が露出しないよう湛水し(5cm程度)、散布後7日間は落水やかけ流ししないようにしましょう。

中後期除草剤 (10a当たり)

上記除草剤を散布後、雑草が残った場合、下記除草剤を使用しましょう。注)液剤やEW剤を使う場合、水70~100ℓ/10aに希釈する。

Table with 3 columns: ヒエのみ, ヒエと広葉, 広葉のみ. Lists various herbicide products and their application methods.

育苗ごよみ

主な作業	作業内容と留意点												
資材の準備 10a当り	◎10a当り苗18~20箱 1箱当り催芽もみ160gを準備する ○培土を4袋準備する 床土3袋+かけ土1袋=20箱分 ○種もみを3~3.5kg準備する 種子更新100% ○種子消毒 (目安) 水10ℓ テクリードCフロアブル50ml スミチオン乳剤10ml ※いもち病が多い場合はベンレート水和剤10g ★種もみが薬液にすべて浸っているのを確認												
種子消毒	《10ℓ分の準備例》 ○種子消毒の効果を高めるために、特に赤字の点に留意願います。 ①水10ℓにテクリードCフロアブル50ml(よく振る)とスミチオン乳剤10ml(量を正確に)をよく溶かし、薬液を作る ・テクリードCフロアブル(200倍)+スミチオン乳剤(1000倍) ・種もみと薬液の容量比は1:1以上(種もみが薬液にすべて浸っているのを確認) ※薬液の量が少ないと、効果が劣るので注意! ・ベンレート水和剤を混用する場合は10g(1000倍) ②種もみを消毒袋へ入れる ※種もみは、網袋に詰めすぎないようにする。 ③薬液に24時間浸す ・消毒袋をよくゆすり内部の気泡を除く ※24時間浸漬中、2~3回混ぜる。 ④種子消毒後は水洗いせずに浸種に移る												
浸種 (6~7日)	○水かえは毎日行い、河川・ため池での浸種はしない ○浸種の間(6~7日)に積算水温が100℃になるようにする ○必ず芽出し(催芽)を行う [正しいハト胸状態下図参照] ○水温10℃以下では、浸種を行わない												
は種	○種もみは、は種ムラにならないように水切りする ○は種時にナエファインフロアブル1000倍液を1箱当り500mlかける ○覆土後、かん水は原則としてしないが、覆土に水分がしみ上がってこない場合はその部分のみかん水する												
出芽	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">< 積重ね出芽 ></p> <p>出芽適温は28~30℃ ○1cm程度芽が伸びたら箱を広げ緑化作業を行う(積重ね3~4日後) ○十分にかん水し、種もみが見える場合は再覆土する</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">< 太陽シート使用例 ></p> <ol style="list-style-type: none"> 箱下は、排水を確保し、なるべくすき間をあけない 必ず水平に箱を置く 太陽シートをかけた後、取り除くまでにすきま風が入ると覆土が乾燥し、出芽遅れ、根上りの原因となる 苗長4~5cmで太陽シートを取り除き、硬化作業に移る(目安は、元気つくし5~7日後、その他6~8日後) 太陽シートは3年で更新 <p>板を入れて傾斜をつけベタがけとする。箱下につつま込む。</p> <p>横並べ たて並べ 横並べ</p> <p>○出芽後の病害防除</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用病害名 又は使用目的</th> <th>薬剤名</th> <th>希釈倍率</th> <th>使用量 使用方法</th> <th>使用時期</th> <th>使用回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>苗立枯病 ムレ苗防止 根の生育促進 移植後の活着促進</td> <td>ナエファイン フロアブル</td> <td>1000~ 2000倍</td> <td>育苗箱 1箱当り 500ml 土壌灌注</td> <td>は種時 から緑化 期まで</td> <td>2回以内</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div>	適用病害名 又は使用目的	薬剤名	希釈倍率	使用量 使用方法	使用時期	使用回数	苗立枯病 ムレ苗防止 根の生育促進 移植後の活着促進	ナエファイン フロアブル	1000~ 2000倍	育苗箱 1箱当り 500ml 土壌灌注	は種時 から緑化 期まで	2回以内
適用病害名 又は使用目的	薬剤名	希釈倍率	使用量 使用方法	使用時期	使用回数								
苗立枯病 ムレ苗防止 根の生育促進 移植後の活着促進	ナエファイン フロアブル	1000~ 2000倍	育苗箱 1箱当り 500ml 土壌灌注	は種時 から緑化 期まで	2回以内								
緑化	○寒冷紗2枚では2~4日、寒冷紗1枚では4~6日程度行う ○緑化が済んだら寒冷紗は速やかに取り除く												
硬化	○かん水は1日1~2回程度、土の乾きに合せて行う ○夕方のかん水は徒長しやすく、根の生育が悪くなるので行わない ○風の強い日は苗が傷みやすいので、かん水を十分に行う												

うまい米づくりは種子更新と土づくりから!!

うまい米、選ばれる米づくりは、まず健苗育成から!

●追肥例 色落ちした場合のみ追肥する

資材名	は種後15日頃まで	田植前日~3日前
育苗用肥料 4・4・4	5~7g/箱	10~13g/箱

●田植

植付本数	3~4本	植付株数	18株/m ²	坪当り	60株
------	------	------	--------------------	-----	-----

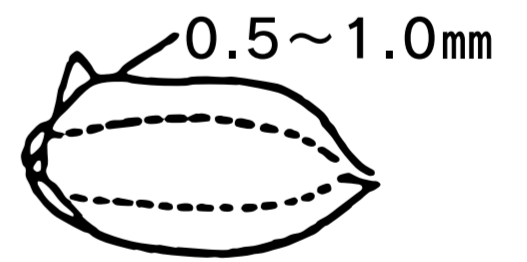
●水稻種子消毒(20箱/10a目安)

面積	10a	30a	50a	1ha
種子(kg)	4	11	18	35
水(ℓ)	10	30	40	80
テクリードCフロアブル(ml)	50	150	200	400
スミチオン乳剤(ml)	10	30	40	80

●育苗床土(目安)

	20箱	50箱	100箱	200箱
培土(kg) 1箱当り約4kg	80	200	400	800
みのリエース(20kg)	4	10	20	40

正しい
ハト胸状態



稚苗

